

毎日続けて 35 年「みどりのおばさん」

岡山・津山市 末澤 朝子

私がみどりのおばさんを頼まれたのが、昭和 59 年でした。最初は少し恥ずかしい気もしましたが、地域のため子供たちのために頑張ってみようと思い引き受けました。私の関わっている学校は弥生小学校といって、県北の津山市では一番人数の多い 530 名の小学校です。

引き受けたからには責任をもって頑張ろうと思い、朝は 5 時起床、6 時食事、洗濯も済ませて 7 時 20 分には家を出ます。多難ではありますが、毎日規則正しい生活をしているので健康には自信があり、休むことなく現場に 7 時半までには着くようにしています。

毎朝「おはようございます」を何百回もくりかえし、子どもたち一人ひとりの顔を見ながら声掛けをして、事故のないように無事に信号を渡らせています。

8 時 10 分には大体が終わります。挨拶のできる、出来ない子供と色々ですが、子供たちの若さあふれるパワーをもらいながら、自分の体調管理をしつつ、毎朝、子供たちが笑顔で挨拶できるようになってほしいと願っています。

今迄は何事もなく、気が付いてみれば 35 年。今年 80 歳を迎え、小さな親切運動の会より表彰していただき、感謝しています。

あと何年続けられるかわかりませんが、今では生活の一部であり、子供達、地域のためにできるだけ永くボランティアが続けられますようにと願いながら、お百姓仕事もし、またバイクでの遠出も楽しんでいる今日この頃です。



注目! 今月の津山

弥生小学校やよいっ子サポーター 末澤 朝子さん (2)

昭和59年頃から約35年間毎朝、弥生小学校(大田)付近の横断歩道で子どもたちの登校の交通整理を行っている。昭和61年から平成25年まで津山市交通安全対策協議会交通整理員として委嘱され、平成19年に岡山県交通安全対策協議会交通安全功労者表彰を受ける。その後、弥生小学校やよいっ子サポーターとして、子どもたちの安全を見守っている。79歳。

交通整理を始めたきっかけは?
交通整理員をしていた近所の人から、役を引き継いでほしいと相談を受けたことがきっかけです。子どもの頃から学校が大好きで、学校や地域に貢献することができると思い、引き受けました。
6年ほど経った時、体調を崩して約1か月間入院し、交通整理員を辞めようかと悩んだことがありました。しかし、多くの人から励ましの声をもらい、元気になったらまた頑張ろうと決心し、再び続けることにしました。
毎朝7時30分から8時15分まで交通整理をしています。わたしは緑色のジャンパーを着て交通整理をしているので、「緑のおばちゃん」と呼ばれることがあります。

交通整理をして良かったことは?
見守りをして子どもが保護者になって、「お愛わりありませんか。お元気そうで何よりです」「いつも見守ってくれてありがとうございます」とお礼を言ってくれたり、高校生になった子から笑顔で「こんにちは」と言われたりすると、とてもうれしくなります。
また、毎朝、子どもたちとあいさつを交わすことで、わたし自身がたくさん元気をもらっています。

津山の皆さんへメッセージを
毎朝、交通整理をすることはわたしの日課であり、生きがいです。地域の宝である子どもたちが安全に登校し、元気に成長することができるよう、これからも見守ってまいります。

子どもたちの安全を気遣う末澤さん

「おはよう」と優しく声を掛ける末澤さん